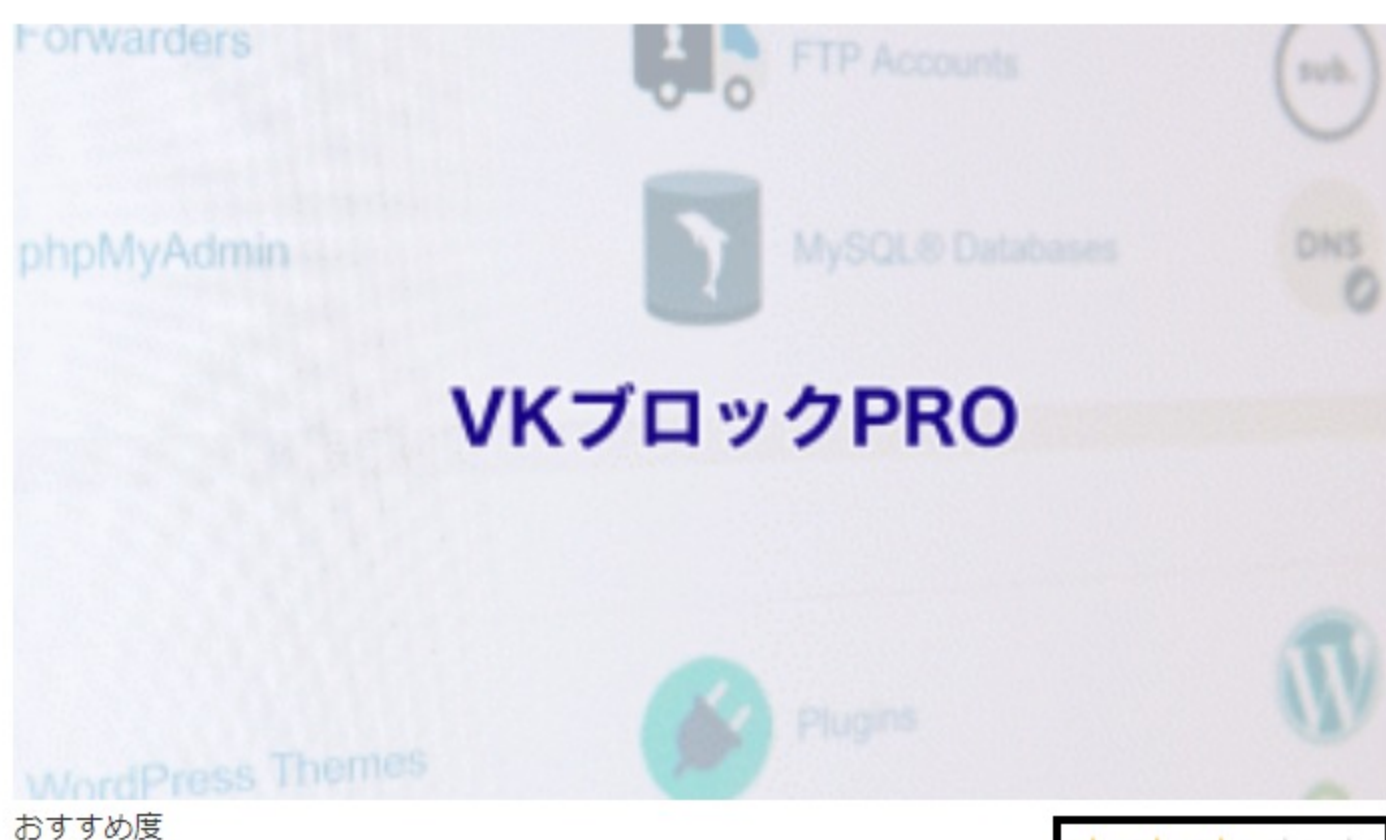


ブロックエディタ（Gutenberg）VKブロックPRO Outerのマニュアル



おすすめ度



図表による使い方マニュアル

STEP 1 Outer 挿入



ブロックの挿入は+アイコンをクリックしてブロックを挿入。赤枠の中から「選択投稿リスト」を選択。

STEP 2 Outer 設定



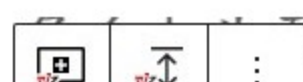
Outer設定画面

設定方法は右側のサイドバーに表示されます。
※もし表示されてない場合は画面右上のギアのマークをクリックすると表示されます。

Outer 設定できる内容

- Outer
- 背景の画像や色,枠線の設定しレイアウトや区切りを表示します。
- 背景設定
- レイアウト設定
- 区切りの設定
- 枠線の設定
- コンテナ内側のスペース設定
- 非表示設定：画面サイズにより設定を表示もしくは未表示の設定が可能
- 高度な設定：HTMLアンカー（ページ内リンクのみだ歳の設定）、追加CSSのクラス名の指定（.〇〇の先頭部分の.ドット部分は省略。複数クラスを半角スペースで区切ります。）

Outer 挿入時（メニューバー）の設定



Outerメニューバー

Outer 選択アイコン

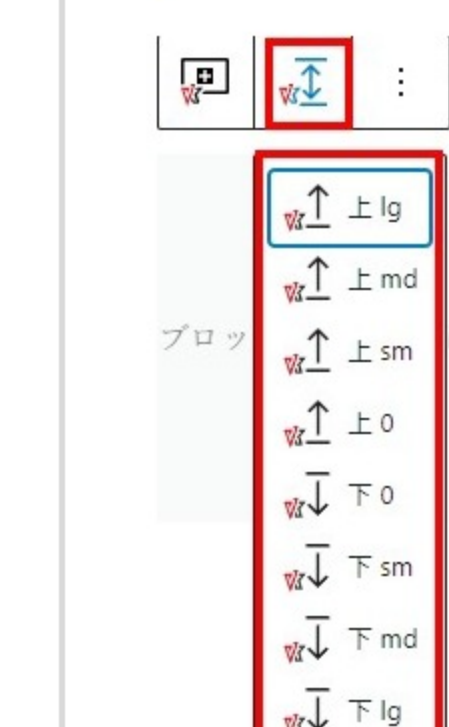


Outer選択肢

Outer現在選択されているブロック名

挿入するブロックを間違えた場合は、他のブロックに変更できる。があまり選択肢の幅はない。よく使うブロックに限られる。その為このブロックを削除して改めて選択し直す必要があります。

Outer ブロックの余白



Outer ブロックの余白

Outerなどの余白を設定します

Outer ブロック編集



Outerブロック編集

- Outer設定できる内容
- コピー：ブロックのコピー。段落挿入後張り付けるとコピーされる。
- 複製：ブロックの複製。同じ内容が複製（コピペ）でき上段の作業を1回で行えるメリットがあります。
- 前に挿入：現在のブロックの前に新たなボックスを挿入することが出来ます。
- 後に挿入：現在のブロックの後に新たなボックスを挿入することが出来ます。
- 移動：ブロックの移動
- HTMLとして編集
- 再利用ブロックに追加：該当ブロックを登録して再利用が行えるように登録する。※テーマプラグインにより表示されない場合がある。
- グループ化：複数のブロックをまとめる事が出来る。
- ブロックを削除

Outer まとめ

Outerはいかがでしたか？実務ではあまり使う頻度は少ないと思いますが、実際に「Outer」を使用すると違った発見があるかもしれませんのでご自身で積極的に「Outer」をお試しください。